

令和3年(2021年)度

事業報告書

自 令和3年(2021年) 4月1日

至 令和4年(2022年) 3月31日

公益財団法人 アジア学生文化協会

令和3年(2021年)度

事業報告

(2021年4月1日より2022年3月31日まで)

公益財団法人 アジア学生文化協会

1. 公益目的事業

日本とアジア諸国等の青年学生に対する国際相互理解の促進に関する事業

ア. アジア文化会館・学生寮運営事業

1960年のアジア文化会館(ABK)竣工時より外国人留学生のための宿舎として、来日当初からの受入れを行っている。留学生の宿舎事情は近年改善されつつあるが、日本語のままならない外国人には探しづらい状況は常に伴う。こうした外国人留学生に対し、安価で安心できる宿舎の提供は、我が国の留学生増加政策にとっても不可欠な要素でもある。

当協会で設置する学生宿舎は、「住居」であると同時に、共同生活を通じて人間的交流を深め、国籍、民族、宗教を超えて友情を醸成するという「教育的目的」も合わせ持っている。そのため共同学寮には外国人留学生の他、日本人学生もアジアの青年の一員として受け入れ、自治会を構成して定期的なミーティングを開催し、相互理解を深めた。また、各寮には職員、チューター等を常住させ、日常生活、住環境整備、安全等のフォローに当たった。当協会の設置する学生寮の概況は以下の通りである。

● 共同学寮(アソジエイト寮)

日本人学生を含むアジア青年学生による共同生活及び自主的活動を通じた人格形成の場としての学寮の設置運営。
(各施設の詳細)

	施設名	在館/在寮生数 (所在地)	部屋代
1	アジア文化会館(Aフロアー)	16名(男10名、女6名) (文京区)	38,000円(水道光熱費込)
2	新星学寮	16名(男9名、女7名) (文京区)	40,000円(水道光熱費込)
計	2施設	32名(男19名、女13名)	

● 留学生寮(レジデント寮)

留学生が安定して勉学生活を送るための学生宿舎の提供。日本での生活を安全にトラブルなく送れるよう、生活指導・サポートや文化、慣習、生活等のオリエンテーションを実施。

(各施設の詳細)

	施設名	在館/在寮生数 (所在地)	部屋代
1	アジア文化会館(Rフロアー)	72名(男41名、女31名) (文京区)	25,000円～58,000円 (水道光熱費込)
2	やまぶき寮	19名(男10名、女9名) (荒川区)	24,000円～40,000円(水道代 込)
3	巣鴨寮	9名(男8名、女1名) (豊島区)	43,000円～78,000円(水道 光熱費7,000～10,000円)

4	千石寮	4名(女4名) (文京区)	20,000円～30,000円(水道光 熱費5,000円)
5	染井ハイツ	10名(男10名、女0名) (豊島区)	25,000円～48,000円(水道 光熱費7,000～10,000円)
計	5施設	114名(男69名、女45名)	

● 新型コロナウイルス禍の影響

1. 寮の運営

(1) 賃貸寮の一部解約

- ・2021年度もコロナ禍における入国制限が続き、留学生が来日できなかったため、新規入国者の入寮がゼロとなった。2022年度に新入生を迎える見通しがたがたなかったことから、賃貸寮をさらに閉鎖して事業を縮小することを決定。具体的には、荒川区から借り上げているやまぶき寮(男女28室 賃貸料40,000円/月)、千石寮(女子7室 25,000～35,000円)、そして巣鴨寮(ワンルーム型 13室 賃貸料43,000～78,000円/月)を2022年3～4月にかけて閉寮し撤退することになった。

2. 宿舎・寮における感染予防対策

(1) 消毒

- ・館内の共用部で人が接触する箇所(テーブル、ドアノブ、スイッチ等)をアルコール等で消毒。
- ・会館入口のカウンターに消毒用アルコールを置き、入館時の手指消毒を徹底した。
- ・館内の手洗い場にハンドソープを配置。掲示物などを通じて、手洗いの励行を周知徹底した。

(2) 換気

- ・換気のよい状態を保つため、館内共用部の窓を開放。

(3) 接触を減らす

- ・不特定多数の人の接触を避けるため、寮生または事務所スタッフ以外の入館を原則禁止した。
- ・地下ホール、ロビーでは、テーブルの配置や椅子の数を調整し、人が密にならないように距離を確保できるようにした。更に、飛沫感染を防ぐため、テーブルにはパーテーションを設置した。
- ・事務所内での密を防ぐため、テレワークや時差出勤により出勤者数を減らした。

(4) その他

- ・会館入口にサーモカメラを設置し、入館者の体温をチェックすることにより、発熱者を速やかに掌握。体温管理に対する意識向上にもつながった。
- ・館内共用部におけるマスク着用を徹底。

3. 寮生のサポート

(1) 体調不良者の対応

- ・発熱や風邪のような症状がある学生は、発熱外来を受診し、陽性だった場合は保健所の指導に従って対応した。第5波まで陽性者はホテルでの療養となったが、感染者数が過去最多となった第6波では、東京都の方針により、軽症者は自宅療養となった。アジア文化会館では、共用部での感染を防止するため、トイレ、洗面所、シャワー室には陽性者専用の場所を指定し、キッチンやエレベーターの使用は禁止した。また、陽性者または濃厚接触者と同じフロアの在館生については、職員が毎日体温確認などの健康観察を行った。

- ・さらに寮生の不安を取り除くため、寮内の感染状況については可能な限り情報を公開し、希望者には検査キットを提供できる体制を整えた。

(2) 経済的問題への対応

- ・アルバイトや親からの仕送りがなくなったことなどにより、生活に影響が生じていないかどうか、在学先の日本語学校と連携して、早期に掌握しサポートを行った。

(3) 寮生の状況把握

- ・日本語学校とも連携し、上記以外に寮生が抱えている問題(感染に対する不安、ストレス等)を掌握し、個別に対応した。

4. 学寮所在地域（文京区、荒川区等）の国際交流及び連携

- ・新型コロナウイルスの影響により、今年度も地域の例祭や盆踊りが中止となり、ABK 秋祭りなど対面で行う協会行事も中止とした。
- ・初めての試みとして、オンラインによるピンゴ大会を8月に開催した。

イ. 日本語教育事業

1983年より始まった日本語教育事業は、宿舎に住む日本人学生や先輩留学生が、大学進学を控えた留学生にボランティアで実施した補習教室がその前身である。留学生にとって希望する勉学、研究を行うには十分な日本語を習得することは必須条件であるが、当事業では、留学生が本来の勉学目的を達成できるよう、集中的で密度の濃い日本語教育を実施してきた。同時に各国の学制の違いや、シラバスの違いから起こる学歴・学力の平準化のため、英語、数学、物理、化学、社会の基礎科目授業も実施している。

日本における大学及び専門学校の受験資格要件では、12年の学校教育修了が求められるが、これらの基礎科目授業を実施する「大学進学準備1年課程、および1.5年課程」は、1999年に文部科学省より「進学準備教育課程」の認可を得ており、後期中等教育修了時で学歴が12年に満たない学制の国からの留学生（マレーシア11年、モンゴル10年など）でも、当課程を修了することにより、不足分の学校教育学歴が補完され、大学及び専門学校の受験資格が付与される。

2021年度に取り組んだ主な項目は以下の通りである。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、日本政府の厳しい水際対策による入国制限により、来日が叶わない新規来日予定の4月期生は、2020年度のように次期生へ入学時期をスライドさせるのではなく、母国からオンラインで授業に参加することとなった。これは、出入国在留管理庁より「当該オンラインによる授業だけをもって、日本語教育機関の告示基準等に適合しないとみなされるものではない」と認められ、必要範囲内において、当該オンラインによる授業を教育課程の一部とみなすことが可能です。」との回答から、オンラインでの授業参加でも認められることとなったためである。そのため、昨年度に引き続き学生数は減少したが、在籍学生数のうち2/3が来日済みで対面、1/3が来日できずにオンライン、というハイブリッド型の授業形態でスタートし、昨年2020年度の授業開始は5月のGW明けであったが、2021年度は例年通り、4月から授業を開始することができた。
- ② 例年行われていた学校行事は入学式を含め、ほとんどが中止せざるを得ない状況であった。しかし、規制緩和の声が上がり始めた2022年3月には、対面+オンラインのハイブリッド形式での修了式を執り行うことができ、10月期生のスピーチコンテストも全員オンラインで開催することができた。
- ③ オンライン授業がニューノーマルな授業形態の一つになり、常態化することになったので、最優先課題としてインターネット環境のインフラ整備に取り組んだ。オンライン授業ではZoomを使用した、画像等、大容量のデータ送受信の下では、Wi-Fi接続ではインターネッツスピードが不安定であり、直接LANケーブルとPCを接続するイーサネットの方が安定するため、各教室までLANケーブルを配線する工事を行った。また、学校運営業務の上でもZoomでのミーティングを行う機会が多くなったため、スイッチングハブによりLANケーブルを分岐配線することにより同じ部屋で複数台でのZoom利用が可能となった。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の予防のためには、ソーシャルディスタンスで座席の間隔を空けて、学生間の距離を一定に保ち、窓を開けて、教室の空気が滞留することを防ぐべく換気が非常に重要であった。そのため夏前に早急に各教室の網戸の張り替え修理を行った。
- ⑤ 日本政府の宣言や措置の発表に適宜対応し、一番厳しい緊急事態宣言が発令された際には、全学生をオンラインの授業に切り替えたり、まん延防止等重点措置の時には分散登校に緩和するなど、いろいろ試行錯誤しながら教職員とも連携を図りつつ、学生の安全を第一優先課題として取り組んだ。
- ⑥ 日本語教育機関設置規程の教員数の変更（学生数60名に対し1名の専任から40名に対し1名の専任へ）により、学生定員を220名から160名に変更すべく、東京出入国在留管理局へ「専修日本語課程10月コース」と「大学進学日本語課程4月コース」の閉鎖を申請、3月に受理された。施行は、2022年9月1日から実施となる。

● 課程及び修業年限

課 程	入 学 期 日	修 業 年 限	学 生 数	授 業 時 間 数
留学生日本語コース 大学進学準備 1 年課程 (基礎教科は文科系と理科系に分かれている。 また、必修の基礎教科修了後、選択で 基礎教科を受講することができる。)	4 月	1 年	24 名	40 週/年 (必修) 日本語 日本事情 基礎教科 (選択) 基礎教科 136 時間
留学生日本語コース 大学進学準備 1.5 年課程 (基礎教科は文科系と理科系に分かれている。 また、必修の基礎教科修了後、選択で 基礎教科を受講することができる。)	10 月	1.5 年	41 名	60 週/1.5 年 (必修) 日本語 日本事情 基礎教科 (選択) 基礎教科 136 時間
専修日本語課程 10 月コース	10 月	1.5 年	0 名	60 週/1.5 年 日本語 1,360 時間
大学進学日本語課程 4 月コース (基礎教科は大学進学準備課程と異なり、 全時間数ともに選択科目となっている)	4 月	1 年	1 名	40 週/年 (必修) 日本語 日本事情 (選択) 基礎教科 256 時間
大学進学日本語課程 10 月コース (基礎教科は大学進学準備課程と異なり、 全時間数ともに選択科目となっている)	10 月	1.5 年	0 名	60 週/1.5 年 (必修) 日本語 日本事情 (選択) 基礎教科 256 時間
計			66 名	

● 学 費 等

課 程	学 費
留学生日本語コース 大学進学準備 1 年課程	出願料 20,000 円 入学金 95,000 円 授業料 720,000 円
留学生日本語コース 大学進学準備 1.5 年課程	出願料 20,000 円 入学金 95,000 円 授業料 1,080,000 円
専修日本語課程 10 月コース	出願料 20,000 円 入学金 80,000 円 授業料 1,030,000 円
大学進学日本語課程 4 月コース	出願料 20,000 円 入学金 80,000 円 授業料 720,000 円
大学進学日本語課程 10 月コース	出願料 20,000 円 入学金 80,000 円 授業料 1,080,000 円

● 当コース受入学生進路等の状況

当年度 在学生の人数および進路一覧

国・地域	大学学部		専門 学校等	転校 その他	帰国	2022 年度 継続	計
	国公立	私立					
マレーシア	11	31	7	3	1	0	53
中国	0	3	0	1	0	1	5
香港	0	0	1	0	0	0	1
インドネシア	0	0	1	0	0	0	1
日本	0	1	0	0	0	0	1
韓国	0	1	0	0	0	0	1
モンゴル	1	1	0	0	0	0	2
フィリピン	0	0	0	1	0	0	1
カザフスタン	0	1	0	0	0	0	1
小計	12	38	9	5	1	1	66
合計	50						

ウ. アジアセミナー事業(休止中)

2021 年度も引き続き休止とした。

エ. 広報・企画事業

広報誌発行

広報誌「アジアの友」は、協会設立当初の 1958 年 9 月に機関誌として刊行された。月刊誌として会員、寄付者を対象に配布していたが、その後、購読会員も加わっている。本誌には、当財団の活動、留学生の実態、留学生の声、また留学生の帰国後の社会活動等について掲載すると同時に留学生関連有用情報の提供等を行っている。今年度からは赤字幅縮小のため、年 4 回の発刊とした。配布先は主として、当財団会員・関係先、留学生関連団体、大学、専門学校、日本語学校、国際交流団体、図書館、政府等関係機関、留学生等に配布し、日本社会における留学生理解を深める努力を払ってきた。また、既刊本はホームページでも公開した。

● アジアの友の刊行

広報誌名	発行		発行部数	頒布先
アジアの友	4 冊：	第 546～549 号	各 700 冊程度	大学 国際交流関連連団体 地方自治体、留学生他

第 546 号：巻頭 留学生の入学経路と卒業後進路の分析 外国人留学生の入学前と卒業後を明らかにする/
新星学寮での生活/私の意見私の体験(インドネシア)/連載コラム(TNI) / 知友会通信他
第 547 号：巻頭 地殻変動を起こす日本語教育 日本語教育推進法の意義と概要/特集 ABK 富士前寮 20 年の歴史に幕/新星学寮での生活/私の意見私の体験(台湾)/連載コラム(TNI) / 知友会通信他
第 548 号：巻頭 福田ドクトリン記念碑 除幕式を開催/研究者インタビュー(インド)/連載コラム(TNI) / 新星学寮での生活/連載コラム(TNI) / 知友会通信他
第 549 号：巻頭 中国人留学生の大学院入試における学歴資格評価の実践 大阪大学における大学院入試改革事例の紹介/研究型大学の留学生比率を検証する「スーパーグローバル大学創成支援事業 タイプ A13 大学の留学生比率」/学校訪問/提言 留学生の水際対策の緩和について/日本留学その後(台湾)/新星学寮での生活/連載コラム(TNI) / 知友会通信他

2. 収益事業

国際教育交流の支援に関する事業

ア 留学生情報、日本語教育等に関する情報提供、編集、出版

- インターネットによる日本留学情報の提供
 - ・ 海外から日本留学を目指す人たちに日本留学に関するあらゆる情報をスムーズに提供できるよう日本留学総合情報サイト「JAPAN STUDY SUPPORT」を構築し、8 言語（日本語・英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）・ベトナム語・インドネシア語・タイ語）で提供、運営した。
 - ・ 同サイトにて大学院、大学学部等の学校データベース情報、および奨学金情報等のコンテンツを更新した。
 - 掲載数：大学院 556 大学、大学学部 642 大学、短期大学及び専門学校 159 校、奨学金 170 件
 - ・ 同サイト「ニュース」ページを更新した。
 - ・ 同サイト「日本留学お役立ち情報」ページを更新した。
 - ・ 同サイトの運営はベネッセコーポレーションとの共同運用で行なった。
 - 有料掲載大学・大学院・短期大学 52 校
- 調査・出版による大学入学情報の提供
 - ・ 日本留学総合情報サイト「JAPAN STUDY SUPPORT」の大学学部データから、書籍版『私費外国人留学生のための大学入学案内』を編集・発行した。
 - ・ B5 版 462 ページ 掲載大学数 489 発行部数 1,242 部 価格 2,300 円 (税抜) / 1 冊

イ 大学、奨学財団等からの業務受託

- 大学・財団等からの業務受託
- ・ 大学の外国人留学生願書受付処理に係る業務の受託
2 大学約 1,750 件
- ・ 大学の外国人留学生出願資格、学歴判定に係る業務の受託
7 大学約 160 件

ウ 国際交流・地域団体等への事務所賃貸、研修室貸与

- 事務所賃貸
- ・ 一般社団法人日タイ経済協力協会、一般社団法人日本百賢アジア研究院、特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21、特定非営利法人ベトナム子ども基金など国際交流団体や法人等への事務所の賃貸。
- 研修室貸与
- ・ 研修室貸与にかかる運営体制と人件費を見直し、原則として外部団体への研修室貸与は行わない。

3. 法人事務

- 会員制度
- ・ 公益財団法人としての認知度を高め、広く個人・諸団体からの支援を得ることを目的とし、会員制度を運用した。本年度も新規入会会員よりも会員の高齢化による減少が多く、会費減少が続いた。一昨年、対策の一環としてホームページを改定し、海外からも会費、寄付がクレジット決済できるようにしたがさらに何らかの工夫が必要である。
- その他
- ・ 2021 年度は、コロナ禍で新規来日の日本語学校生が 0 に終わり、アジア文化会館・学寮運営事業は、2020 年度の外部寮二寮撤退、受付・廃止と言った努力にもかかわらず、大幅な赤字となり、さらに

外部寮三寮撤退せざるを得なくなった。これは、コロナ禍収束後の日本語学校生募集にも影響が出かねない。

令和３年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和４年５月

公益財団法人アジア学生文化協会

2021年度 主な協会活動・行事

2021年 4 月

		東京国際大学 E-Track 学部/編入 秋入学Ⅳ期 志願処理業務(～28日)。
10	木	法政大学大学院 IIST9 月入学 志願処理業務(～28日)。
12	月	4月生(Dクラス)授業開始。
13	火	基礎科目オリエンテーション(～15日)。
14	水	東京国際大学 E-Track 大学院 秋入学Ⅰ期 志願処理業務(～5月11日)。
16	金	福田元総理来館。
19	月	法政大学 GBP/SCOPE/IGESS 自己推薦入試 9月入学Ⅱ期 志願処理業務(～5月28日)。
22	木	基礎科目プレイスメントテスト(～23日)。
25	日	緊急事態宣言(～6月20日)。
28	水	協和監査法人監査。

9 月

1	水	法政大学 外国人留学生入試 前期 志願処理業務(～10月31日)。
5	日	新星学寮入寮選考会。
15	水	東京国際大学 E-Track 学部/編入春入学Ⅱ期 志願処理業務(～10月13日)。
16	木	消火ポンプ設置工事。
24	水	アジアの友 7-9号発行。
30	木	私費外国人留学生のための大学入学案内 2021 年度版発行。

10 月

4	月	10月生(Jクラス)授業開始。
7	木	臨時理事会。
19	火	福田元総理来館。

5 月

1	土	協和監査法人監査。
11	火	基礎科目授業開始。
14	金	アジア文化会館 LED 工事(～15日)。
27	木	2021 年度第 1 回理事会。

11 月

14	日	2021 年度第 2 回日本留学試験(日本語コース生 44 名受験)。
15	月	法政大学 外国人留学生入試 後期 志願処理業務(～12月10日)。
22	月	愛知大学 外国人留学生一般・渡日前入学試験 志願処理業務(～12月8日)。
24	水	福田ドクトリン記念碑除幕式&セレモニー。
		東京国際大学 E-Track 学部/編入 春入学Ⅲ期 志願処理業務(～12月1日)。

6 月

2	水	東京国際大学 E-Track 大学院 秋入学Ⅱ期 志願処理業務(～23日)。
16	水	2021 年度評議員会。
20	日	2021 年度第 1 回日本留学試験(日本語コース生 45 名受験)。
21	月	アジア文化会館 NUROBiz 光工事(～24日)。
29	火	アジアの友 4-6号発行。
30	水	東京国際大学 E-Track 学部/編入 春入学Ⅰ期 志願処理業務(～7月21日)。

12 月

5	日	2021 年度第 1 回日本語能力試験(日本語コース生 37 名受験)。
25	土	アジアの友 10-12号発行。
27	月	消火ポンプ放水試験。

7 月

4	日	2021 年度第 1 回日本語能力試験(日本語コース生 41 名受験)。
12	月	緊急事態宣言(～9月30日)。

1 月

5	水	東京国際大学 E-Track 学部/編入 秋入学Ⅱ期/大学院 春入学Ⅱ期 志願処理業務(～2月2日)。
24	月	アジア文化会館屋上防水工事(～4月1日)。

8 月

2	月	オンラインビンゴ大会(～6日)。
---	---	------------------

2 月

10	木	東京国際大学 E-Track 学部/編入 秋入学Ⅲ期 志願処理業務(～3月14日)。
----	---	--

1 5	火	4月生(Dクラス)授業終了。
-----	---	----------------

3 月

1	火	4月生(Dクラス)授業終了。
1 1	金	法政大学 GBP/SCOPE/IGESS 自己推薦入試 9 月入学 I 期 志願処理業務(～31 日)。 10 月生(Jクラス)スピーチコンテスト。 10 月生(Jクラス)授業終了。
1 6	水	2021 年度第 2 回理事会。 千石寮契約満了。
1 8	金	アジアの友 1-3 号発行。
3 1	木	やまぶき寮撤退。